

森林資源や林業を知る

福島大学林ゼミナール

活動目的

- ・福島大学が木々に囲まれていることもあり、身近なモノである森林について知見を深める。
- ・里山や森林のもつ資源や機能を活かす方法を考察する。

活動内容

- ・2022年
 - 6月5日：いなわしろフェスティバル出店
 - 6月19日：本宮市糠沢での里山体験学習
 - 7月21日：林業従事者との交流・伐採見学
 - 11月6日：福島大学農場フェス出店
 - 11月13日：古殿町馬搬見学交流会に参加
 - 12月～2023年現在
- ：福島大学付属農場内に薪棚を制作中

「薪」について

- ・今回の活動では、主に「薪」の活用などに関する学習を行った。
 - ・薪は、焚き火やストーブ、暖炉に用いられる燃料である。薪の種類は広葉樹と針葉樹の大きく2種類に分けることができる。
- また、樹種や乾燥度合いによって燃やした際に出る煙の量や香りなどが異なる。

いなわしろフェスティバル

- ・いなわしろフェスティバルに出展した。出展内容は、①「クロモジ」の精油の抽出の実演、②油圧式薪割り機を使用した薪割り体験、③里山素材（スギやケヤキなどをはじめとする木片）に関するワークショップを行った。
- ・ワークショップでは、子供たちに抽出する前の「クロモジ」と精油の香りを比べてもらった。また、木片を活用した3×3×3の立体パズルを作成し、森林資源を有効活用したパズルを体験してもらった。さらに、15種類程度の樹種の木片で多くの樹種に触れてもらう体験を行った。薪割り体験では自分たちで割った薪を精油抽出の燃料として火にくべる体験をもらった。

森林、里山がもつ資源・機能

- ・里山や森林がもつ機能には、
 - ①暑さ寒さから身を守る
 - ・木陰は暑さから、小枝などは火をおこせば寒さから身を守ってくれる。
 - ②食料を確保することができる
 - ・グミの実などの木の実を食べることができる。
 - ③訪れた人に安らぎをあたえる
 - ・実際に里山や森林内に入ってみると、景色の変化だけでなく気温や湿度の変化で、まるで別の空間に迷い込んだかのような感覚を味わうことができる。
- などが挙げられる。

活動写真



活動を通して

- ・実際に森林に入り、サクラとナラの木を伐採し、丸太にして運び出したモノを薪やチェーンソーアートに用いる一連の流れを体験できたことで、森林資源の流れを学ぶことができた。
- ・農場祭などで子どもたちが目を輝かせながら、薪割りや木材パズルに取り組んでいた姿を見て、森林と教育のつながりを感じることができた。農場祭では炭化装置を使いながら、焼き芋や焼きマシュマロを振るまうことで、「食農」と結びつけることができたように感じる。
- ・馬搬の見学では、情報を発信し、より多くの人に知ってもらうことで、伝統技術を守ることに繋がるのではないかと感じた。